

「もんじゅ」を廃止措置に移行する場合の 工程及びコスト試算

平成28年12月

文部科学省

「もんじゅ」を廃止措置に移行する場合のコスト試算

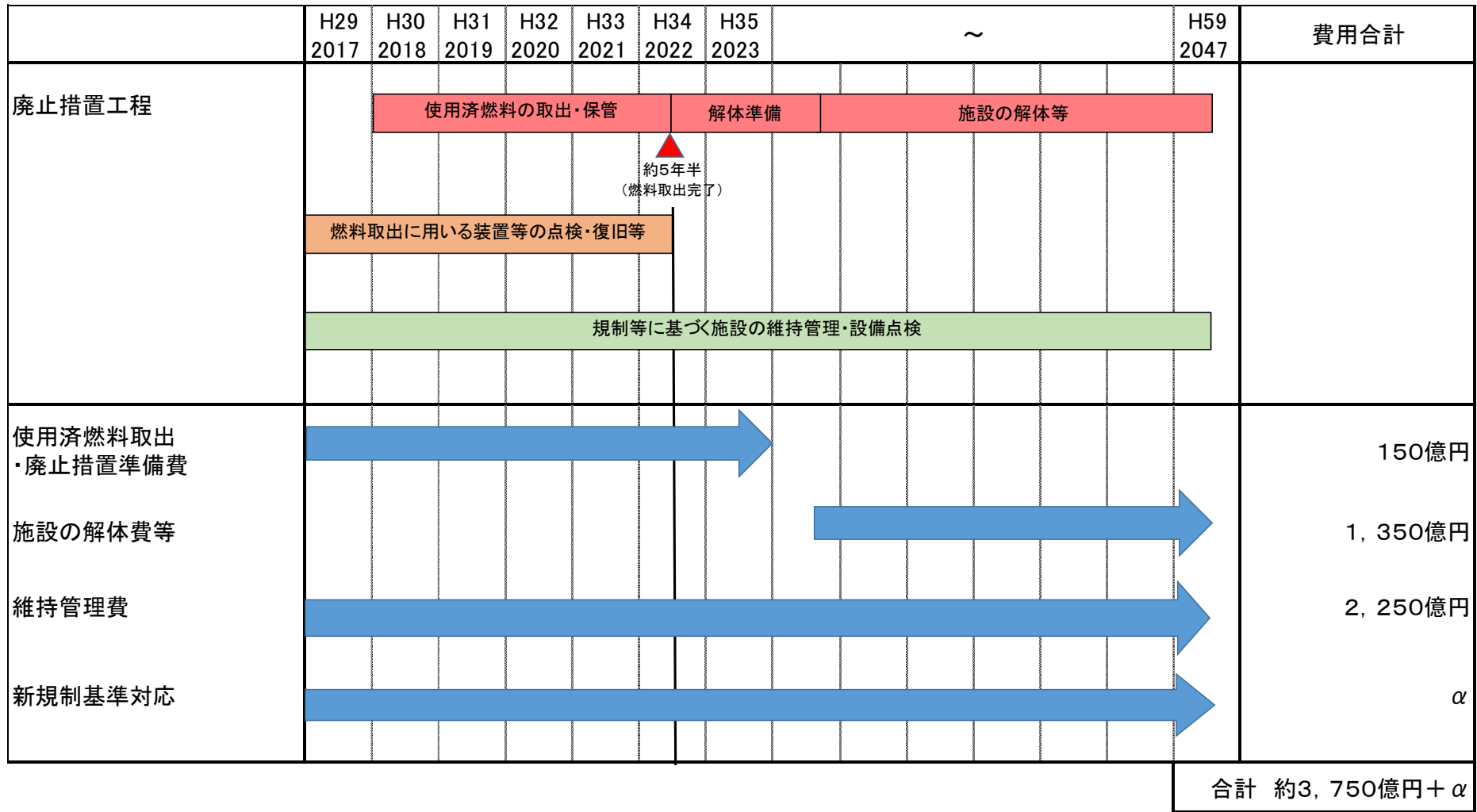
「もんじゅ」について、廃止措置に移行する場合の工程とコストを試算したところ、次のとおり。

なお、コストについては、新規制基準に係る原子力規制委員会からの要求内容等に応じて対応する必要がある。

※廃止措置に係るコストは、「もんじゅ」を再開する場合においても、一部合理化できる取組があるものの、必要となるものである点に留意が必要

事 項	金 額（億円）	摘 要
使用済燃料取出 ・廃止措置準備費	1 5 0	模擬燃料体の製造、装置等の点検・試運転費、ドレンナトリウム仮設タンクの製造費等に係る経費
施設の解体費等	1, 3 5 0	施設の解体等に係る経費
維持管理費	2, 2 5 0	施設の解体が完了するまでの維持管理に係る経費
新規制基準対応経費	α	使用済燃料プールに係る耐震対策など新たな規制基準への対応に係る経費
総 額	$3, 7 5 0 + \alpha$	
原子力規制委員会 による規制等	<p>○廃止措置にあたっては原子力規制委員会の適正な規制を受けながら実施。</p> <p>○状況変化に応じ、仮に廃止措置期間が伸びれば、その分、維持管理費や人件費等が増大。</p>	

「もんじゅ」を廃止措置に移行する場合の工程とコスト



(※) 廃止措置にあたっては原子力規制委員会の適正な規制を受けながら実施。